

PHOTO: Toshiaki Sonoda



南正人インタビュー

「いのちの祭りでは「ここで会ったのは偶然なんかじゃないんだ〜」とか「愛の渦を巻き起そうよ」といったメッセージを出していましたが、祭りの感想を聞かせて下さい。

南■ あそこではカルマもすごい吹き出た気がする。例えばモメ事が起きた時に、それをどうやって自分たちでフォローしていくかという対応のしかたに関して、一昔前のように、あいつを連れ出せというんじゃないで、オレたちの目の前で起きていることに関しては、みんなで責任もってやっていこうという……今のバビロンの中では失われた美徳みたいなものかもしれないけど、それをオレ達のあいだでよみがえらせてみたい。昔から言い

古されていて当り前のことだけど、LOVEがなければ何やってもダメなんじゃないか。それを自分に向かっても、ずっと言い続けていきたいね。

——祭りの時も言ってたけど、その言葉は浮いた感じじゃなかったですね。

南■ うん、それがオレも嬉しかったことだし、みんなやっぱりダテには生きてこなかったんだなと思ったね。祭りの後で、亀淵ユカさんから電話があったんだけど、東京に戻ってきてからちょうど読売ランドでレゲエのコンサートがあって行ったらゴミだらけなんだった。祭りに行った後だからよけい耐え切れなくて帰ってきたっていうんだけど、そういうこと考えると、祭りはビューアなエネルギーをくれてありがとうって言った。

——祭りのテーブルができましたが、そのジャケットの中にナミさんは「行けなかった人のために」という文を書いていますね。

南■ ツアーの旅先で話していると、行けなかったんだけどぜひ聞きたいという声が多かったからね。やっぱりオレたちは一生懸命やったじゃない!? テーブルやビデオがみんなの所に届くまではキッチリやりたいね。

——もうすぐ今年も終わりですけど、これからの活動はやはりライブ中心ですか?

南■ 基本的にオレはギター一本で旅から旅へのブルスマンだからね。今ちょっと考えてるのは、来年1月7日の鏡開きの日に、東京土人大集合といって、井の頭公園の寒空の

下で太鼓を持ち寄って、街の中にリズムの世界を繰り広げてみたいと思ってるんだ。

——今年は打楽器のノリがよかったですね。空きカンと木の枝でも出来るし。

南■ ウラ方さんもいらないし、ゲリラ的にやって、出来なくなったら散ってしまえばいいしね。来年はそういういくつかのアイデアを欲張らずに一つ一つやっていこうかな。

——ありがとうございました。

東京土人大集合

☆89年1月7日(土) おひる〜夕方まで
 ☆井の頭公園(吉祥寺南口) 動物園と池の間の林の中の広場周辺で……雨天中止
 ☆太鼓などの打楽器を持ち寄って遊びましょう。体が暖ったまる飲み物やみんなで分けられる食べ物があってもいいな!

△左ページからつづく

合った多くの人達。その中から具体的な交流や、仕事上の取組み、連帯も私自身、出来つつある。ミュージシャン達とも何人かと話し合い、意見を交わし、力を出し合っている。

喜納昌吉はこんなことを言っていた。「あの祭りに来た人達や、東京の文化人、知識人の心に火をつける。意識を変えさせる。その起爆のエネルギーを持っている人間。それは自分しかない!」

千代丸健二(人権110番)

《連載予告》

365日 ゴミワークショップ

「いのちの祭り」は、祭り全体がゴミ・ワークショップという画期的なイベントで、集まった人数に対して、ゴミが意外と少なく、会場がきれいであったとの貸主からの感想があったそうです。それでもズラリと並んだドラム缶にあふれかえる様々な種類のゴミ。しかも、分別がはっきりと表示されているにもかかわらず、スタッフが毎日ドラム缶をひっくり返しては分け直さなければならぬという有様でした。祭りに参加した皆さん、あなたにとってのワークショップ効果はいかがでしたか?

私も祭りのときはいつもの何倍も注意して仕分けてみました。(そのこと自体が、第一歩だと思うのです) 普段の生活でなら「燃える、燃えない」程度にしか分けられないものをあ

生活ゴミについてのアンケート

あなたは普段の生活で下記のものをごどのように処理していますか。イロハに○をつけて下さい。“その他”の場合は、できればなるべく詳しく()内に御記入下さい。

- 1 生ゴミ
- 2 ガラスビン
- 3 ビニール
- 4 発泡スチロール
- 5 プラスチック容器
- イ. 燃えるゴミ
- ロ. 燃えないゴミ
- ハ. その他(理由・方法は?)
6. 食器洗いには何を用いていますか?

そこでは7~8種にも分けるのです。自動的に“ポイ”ではなく、すべてのものを「一度手にとって」これはビニール、これは吸い殻、これは、ええっと…と考える作業です。些細な事のようにですが“これはいらぬ”と、一方的に「ゴミ」と決めつけるやいなや、あとは見向きもせずゴミ屋さんにお任せ、ではなく、捨てる前にもう一度手にとってみることは、毎日の積み重ねのことだけに、日常生活でのモノとの関わり意識、環境とゴミに対する意識に微妙な変化も生じてくるというものです。それに、本来ならゴミにならずに済むものがどれだけ沢山あることでしょう。

私の場合、祭りで一生懸命手を汚して厳密(?)に生ゴミ等分けて捨てに行っただけ



- イ. 合成洗剤
- ロ. 石鹸
- ハ. その他
7. ゴミを回収してもらう時の容器は?
イ. マーケット等のビニール袋
- ロ. ポリバケツ
- ハ. 無公害ゴミ袋
- ニ. その他
- 8 “ゴミ”について考える事、この誌上ワークショップで取り上げてほしい事がありま

けど、なんの気なしにそれを入れていったビニール袋ごとポイしてしまい、おこられるということがありました。ドラム缶には“for the earth”と書いてあるのにです。スタッフの当初の予定では、祭りから出た生ゴミは地元の農家の堆肥にすることになっていたそうです。でも私のようなうっかり都会人や心ないゴミ生産者のゴミも混ざった結果、わざわざ苦労して分けた他のゴミと同様、結局焼却場へ運ばざるをえなかったとのこと。

同じ生ゴミが、あるときは畑でいのちを育む堆肥となり、あるときは鼻つまむ汚物となるのです。原発の矛盾と無責任を追究し、核の「ゴミ」の恐ろしさを叫ぶ私たち自身の最も身近な日常生活も、ゴミを出し続けることなしには成り立たないものであるなら、それこそ無関心ではいられません。ゴミワークショップを特定の期間だけのものに終わらせるのではなく、つづきの365日にみんなで各家庭に持ち帰って、出来ることから始めてみませんか。御意見等お待ちしております!

したら書いてください。

- 例えば「ビンや缶を扱う際に気をつけていること」「生活のなかで廃品をリサイクルするための工夫」「生活ゴミのなかで、工夫次第ではなくてもすむと思うもの。またその代替案」「割りばし等、使い捨て容器について」「こんなゴミもある!」等々。
9. 自治体によってゴミ分別・回収システムは著しく違うそうですが、あなたの地域ではどうなっていますか
 10. あなたの職業、家族構成、居住地

…というわけでは、お楽しみください。お楽しみください。